

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】令和1年9月12日(2019.9.12)

【公表番号】特表2018-526787(P2018-526787A)

【公表日】平成30年9月13日(2018.9.13)

【年通号数】公開・登録公報2018-035

【出願番号】特願2018-510972(P2018-510972)

【国際特許分類】

F 2 1 K	9/238	(2016.01)
F 2 1 K	9/232	(2016.01)
F 2 1 K	9/00	(2016.01)
F 2 1 K	9/64	(2016.01)
F 2 1 V	23/04	(2006.01)
F 2 1 V	23/00	(2015.01)
F 2 1 V	3/12	(2018.01)
F 2 1 Y	107/30	(2016.01)
F 2 1 Y	113/13	(2016.01)
F 2 1 Y	115/10	(2016.01)
F 2 1 Y	115/15	(2016.01)
F 2 1 Y	115/30	(2016.01)

【F I】

F 2 1 K	9/238	
F 2 1 K	9/232	1 0 0
F 2 1 K	9/00	1 0 0
F 2 1 K	9/64	
F 2 1 V	23/04	5 0 0
F 2 1 V	23/00	1 5 0
F 2 1 V	3/12	
F 2 1 Y	107:30	
F 2 1 Y	113:13	
F 2 1 Y	115:10	
F 2 1 Y	115:15	
F 2 1 Y	115:30	

【手続補正書】

【提出日】令和1年7月31日(2019.7.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

排気管と、

前記排気管の内部に配された無線通信用アンテナと、  
を有する气体充填された電球。

【請求項2】

前記アンテナの外側部分は前記排気管の開放端から突出している、請求項1に記載の气体充填された電球。

**【請求項 3】**

前記アンテナの外側部分は前記排気管に沿って直線状に延在していることを特徴とする、請求項 2 に記載の気体充填された電球。

**【請求項 4】**

前記アンテナの外側部分は前記排気管の周りに巻かれている、請求項 2 又は 3 に記載の気体充填された電球。

**【請求項 5】**

前記アンテナの前記外側部分を前記排気管から距離を置いて支持する支持構造を更に有する、請求項 2 乃至 4 の何れか一項に記載の気体充填された電球。

**【請求項 6】**

前記排気管に取り付けられた管状光源キャリアを更に有する気体充填された電球であつて、前記排気管は前記管状光源キャリア内部に部分的に配されている、請求項 1 乃至 5 の何れか一項に記載の気体充填された電球。

**【請求項 7】**

前記排気管の開放端は、前記管状光源キャリアの内側に位置することを特徴とする請求項 6 に記載の気体充填された電球。

**【請求項 8】**

前記排気管は、前記排気管の開放端が前記管状光源キャリアの外側に延在するように前記管状光源キャリアの全体にわたって延在する、請求項 6 に記載の気体充填された電球。

**【請求項 9】**

前記管状光源キャリアは放射体として作用するよう適合され、前記管状光源キャリアの電気的共振周波数は前記アンテナの受信周波数にはほぼ等しい、請求項 6 乃至 8 の何れか一項に記載の気体充填された電球。

**【請求項 10】**

前記気体充填された電球をランプソケットに機械的及び電気的に接続するためのコネクタと、

1つ以上の固体光源を有する光源キャリアと、

光透過性のエンベロープと、前記エンベロープ内部に配された前記光源キャリア及び前記排気管と、

前記1つ以上の固体光源に電力を供給するドライバと、

前記アンテナに電気的に接続されると共に前記1つ以上の固体光源を制御する制御回路と、

を有する請求項 1 乃至 9 の何れか一項に記載の気体充填された電球。

**【請求項 11】**

前記制御回路は、前記エンベロープの内側に完全に配される、請求項 10 に記載の気体充填された電球。

**【請求項 12】**

光散乱層及び波長変換層の少なくとも1つを更に有する、請求項 10 又は 11 に記載の気体充填された電球。

**【請求項 13】**

請求項 1 乃至 12 の何れか一項に記載の気体充填された電球を製造する方法であつて、前記気体充填された電球の排気管の内部にアンテナを配するステップを有する、方法。

**【請求項 14】**

アンテナと排気管との間に気密接続を形成するステップを更に有する、請求項 13 に記載の方法。